

一般会計 補正予算

平成29年第3回定例会には、一般会計1件、特別会計2件、企業会計1件の補正予算が提出され、すべて原案どおり可決されました。ここでは、一般会計補正予算の主な内容、本会議や予算決算委員会での質疑の内容をご紹介します。なお、金額はすべて千円単位で四捨五入しています。

総額557億3,929万円に

5億1,963万円を増額し

整備事業 委託料を新規計上

スポーツ拠点施設 基本設計

小学校2校を大規模改修
1億2,436万円
(うち国補助 4,210万円)

本渡南小学校のトイレ改修(6,935万円)と佐伊津小学校のグラウンド整備(5,501万円)を実施する。



2コミュニティセンターを
改築・移転 **1,874万円**

一町田地区コミュニティセンターは老朽化により同敷地内に建て替え、二江地区コミュニティセンターは旧二江小学校に移転するのに伴い、それぞれ設計の業務委託を行う。

質疑

◎ 一町田地区コミュニティセンターは旧校舎等の活用は考えなかったのか。

Ⓐ 旧校舎等の活用も検討したが、地元住民の要望もあり同敷地内での建て替えとした。



崎津～長崎航路の運航に補助金
180万円

崎津～長崎航路の1日あたりの基準乗船者数を設定し、基準に満たない場合は運航を行う事業者に助成を行う。(期間：平成29年7月7日～10月1日)

質疑

◎ 基準乗船者数はどのくらいか。

Ⓐ 燃料費がまかなえる程度ということで20人と設定している。

これに満たない場合は、その不足人数分を運航事業者と市が折半して負担する。



陸上競技場整備の
基本設計業務委託料を計上 **3,504万円**

大矢崎緑地公園の使用について県との協議が整ったため、陸上競技場等を整備するに当たり、基本設計や測量調査を行う。

なお、この施設には全天候型の400mトラックを整備し、フィールド内はサッカーやグラウンドゴルフもできるよう天然芝とする。



質疑

◎ 大矢崎緑地公園は埋立地だが、地質に問題はなにか。

Ⓐ 埋め立てはしゅんせつ土や建設排土で行われており、海側の一部の区分された場所には一般廃棄物が埋められているが、有害となるものは一切ないと聞いている。

◎ 基本設計前に地質調査をすべきではないか。
Ⓐ 敷地が広大なため、全域で地質調査を行うには多額の費用が必要となる。基本設計の中で競技場の配置を決定し、必要な場所を特定したうえで調査を実施したい。

◎ 他の候補地との比較検討は行ったのか。

Ⓐ 本渡運動公園、西の久保公園、ゴルフ場予定地跡、大矢崎緑地公園の4カ所を候補地として検討したが、用地の確保、造成費用等を比較した結果、大矢崎緑地公園が最適と判断した。

◎ 公認の陸上競技場を目指すのか。

Ⓐ 県内の大会が誘致できる第3種の公認競技場として整備する。また、競技場横にはサブグラウンドを兼ねて市民が気軽に利用できる多目的広場を整備する。

◎ スポーツ拠点施設整備の総事業費は。

Ⓐ 大矢崎緑地公園に陸上競技場を移転した後は、本渡運動公園、広瀬公園も改修を行う予定としており、概算で大矢崎緑地公園の陸上競技場整備が18億円、本渡運動公園が10億円、広瀬公園が3,000万円の事業費を見込んでいる。

◎ 天草市スポーツ拠点施設整備基本計画で示された計画より1年前倒しとなったのはなぜか。

Ⓐ 県から使用許可の回答を早期にいただいたこともあり、少しでも早く市民の皆さんに使用していただけるよう事業を進める。これにより供用開始が当初の平成35年度から34年度となる見込みである。



崎津と宮地岳に観光交流施設を整備

宮地岳観光交流施設基本計画策定業務委託 **700万円**

崎津観光交流広場整備工事 **5,000万円**

宮地岳小学校の旧校舎等を活用し、道の駅の機能を有する施設の整備を行うため、整備基本計画策定を委託する。また、崎津集落中心部にある旧紋付屋跡地を観光交流広場として整備を行う。なお、崎津の交流広場整備工事費については、全額ふるさと応援寄附金からの繰入金とする。

質疑

◎ 宮地岳の観光交流施設はどのようなものになるか。

Ⓐ 宮地岳地区等の各種団体代表者で組織される建設推進協議会と協議を行っているが、地元としても旧校舎の活用を考えておられる。施設内容については、今後基本計画策定の中で地元の意見を取り入れながら協議していく。



旧宮地岳小学校校舎

◎ 旧宮地岳小学校は国道から少し入ったところにあるが、取り付け道路等も整備するのか。

Ⓐ 道の駅の要件を満たすためには、国道に面する必要があるため、基本設計の中で検討していきたい。

